| 国語 | 第３学年 | 江田島市立能美中学校 | 指導者　安達　理恵 |
|---|---|---|---|

単元名

# 江田島市を活性化するために～中学3年生からの提案～「課題解決に向けて話し合おう」（出典：光村図書　国語3）

**本単元で育成する資質・能力**　表現力・主体性・協同的態度

## １　単元について

（１）単元観

本単元は，中学校学習指導要領国語第３学年の「A話すこと・聞くこと」の（１）「ア　社会生活の中から話題を決め，自分の経験や知識を整理して考えをまとめ，語句や文を効果的に使い，資料などを活用して説得力のある話をすること。」及び「エ　話合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し，課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。」を受け，課題解決に向けて話し合うことを通して，社会的な課題について主体的に考え，説得力のある意見を述べ合い，考えを生かし合う力を身に付けさせることをねらいとして設定した。

教材「課題解決に向けて話し合おう　社会への提案をまとめる」は，社会生活の中から課題を見付けるための話合いや合意形成を目指す話合いのポイントを理解させるとともに，実際に課題を設定し，解決を目指す話合いを行い，考えを生かし合う学習活動について示されている。これらのことは，本単元において，江田島市を活性化するために，中学３年生からの提案をすることを目的にした学習活動を仕組むために適している。これらの活動を通して，社会的な課題について主体的に考え，説得力のある意見を述べ合い，考えを生かし合う力を身に付けさせることができると考える。

（２）生徒観

本校の平成２７年度全国学力・学習状況調査「話すこと・聞くこと」の国語Aの平均通過率は８５．３％，国語Bは８３．７％であった。これは広島県や全国平均と比較しても高く，「話すこと・聞くこと」における基礎的・基本的な力はついていると考えられる。実際の活動の場面においては，相手の話をメモを取りながら聞いたり，決められたテーマにそって自分の体験や考えを話したりすることに関心意欲が高い。しかし，全国学力・学習状況調査の質問において「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。」に肯定的回答は５４．９％，否定的回答は４５．１％であり，苦手意識は高い。また，これまでの学習「自分の魅力を表現しよう」では，自分の考えたことをメモをもとに話すことはできるものの，相手の良さを引き出すような質問をしたり，話題が広がるような返答をしたりする対話には困難さが見られた。他の場面においても，課題を解決するための話合いの場でありながら，一人一人が自分の考えをもてずに話合いの場に参加したり，考えをもっていても発言できないまま一部の生徒の発言のみで結論を出してしまったりする様子が見られる。

| | 国語A（%） | 国語B（%） |
|---|---|---|
| 本校 | ８５．３ | ８３．７ |
| 広島県（公立） | ８０．５ | ７３．２ |
| 全　国（公立） | ７９．７ | ７２．２ |

（３）指導観

指導に当たっては，社会的な課題について主体的に考え，説得力のある意見を述べ合い，具体策をまとめさせるために，次の三つの工夫を行う。

１つ目は，単元の導入において，総合的な学習の時間の「江田島市の魅力を紹介しよう」と関連付け，生徒自身のこれまでの学びを生かして，課題を設定できるようにすることである。これまで自分たちの住む地域のよいところを探し広報していく活動を行い，江田島市のもつ課題や問題点にも気付くことができている。「江田島市を活性化する」ことが生徒自身の願いであることは，総合的な学習の時間に確認している。その

ため，生徒は自分自身の課題としてとらえ，主体的に考えることができると考える。

また，生徒自身の知識や体験，総合的な学習の時間に作成した資料を活用させ，自分の意見の根拠を明確にさせることで，説得力のある意見が出せるようにさせる。

**【ポイント①】生徒の生活に即し，総合的な学習の時間に学んだ「江田島市の魅力を紹介しよう」の資料を準備しておき，それらを活用して，説得力のある意見が出せるようにする。**

２つ目は，生徒自身のこれまでの合意形成に向けた話合い活動を振り返らせることである。生徒自身が話合いにおける課題を見いだし，それを「話合いのポイント」として整理することで，単元を通して，主体的に説得力のある意見を述べ合い，考えを生かし合おうとする話合いができるであろう。

**【ポイント②】「話合いのポイント」を整理する場を設定し，生徒自身に話すこと聞くことについての実態を自覚させ，話合いをより効果的に行うことができるようにする。**

３つ目は，知識や考えを整理するためにシンキングツールを用いることである。そのことで，説得力のある意見をもちやすくし，考えを説明しやすくし，主体的な話合いができるようにする。

**【ポイント③】情報の収集，整理では，シンキングツールを用いことによって，複数の事柄について，因果関係を考えたり取捨選択させたりし，より説得力のある意見を考えさせる。**

振り返りでは，話合い全体を振り返り，課題解決のために有効だったことや改善すべきことを話し合わせる。それを「課題解決のための話合いのポイント」として再度整理させて，総合的な学習の場面で意識させるようにする。

また，本単元で話し合った「江田島市を活性化するための提案」を今後の総合的な学習の時間で提言としてまとめさせ，相互の関連を図った取組にしていく。

## ２　単元を貫く言語活動

単元を貫く言語活動として，「江田島市を活性化するための提案をまとめる」ことを位置付けた。

本単元でまとめる提案は，総合的な学習の時間と関連させ，地域のよい点を課題となる点を整理し，江田島市を活性化するための具体策について話し合い，まとめて，市へ提案する。このことにより，「社会的な課題について説得力のある意見を述べ合い，考えを生かし合うこと」を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

## ３　単元の目標

○　社会生活の中の話題に関心をもち，自分の考えを話したり，話題に対する考えを深めたりしようとする。
（国語への関心・意欲・態度）

○　社会生活の中から話題を決め，自分の経験や知識を整理して考えをまとめて話すことができる。
（話すこと・聞くこと　ア）

○　話合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し，課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うことができる。
（話すこと・聞くこと　エ）

○　社会生活における敬語の適切な使い方について理解することができる。
（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（１）イ（ア））

## 4　単元の評価規準　　（　）は該当する指導事項などの記号

| 国語への関心・意欲・態度 | 話す・聞く能力 | 言語についての知識・理解・技能 |
|---|---|---|
| 社会生活の中の話題について，相手を説得させるために意見を述べ合うこと。（言語活動例イ） | | |
| ○社会生活の中の話題に関心をもち，自分の考えを話したり，意見交換したりしようとしている。 | ○社会生活の中から話題を決め，経験や知識を整理して考えをまとめ，資料を活用して説得力のある話をしている。（ア）<br>○話合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し，課題の解決に向けて互いの考えを生かし合っている。（エ） | ○建設的に話し合えるよう，敬語など言葉遣いに注意している。（（1）イ（ア）） |

## 5　本単元において育成すようとする資質能力とのかかわり

| 育成したい資質・能力 | 具体的な生徒の姿 |
|---|---|
| 表現力（スキル） | 相手に伝えるために分かりやすくまとめ，表現することができる。 |
| 主体性（意欲・態度） | 自ら進んで意欲的に課題に取り組もうとしている。 |
| 協同的態度（意欲・態度） | 他者と協力しながら課題に取り組もうとしている。 |

本単元では「A話すこと・聞くこと」の領域を取り上げ，課題の解決に向けて自他の考えを整理し，合意形成を目指して話し合う能力の育成を目指す。このことにより，相手に伝えるために分かりやすくまとめ，表現する力を育てることができると考える。また，グループや全体で話し合う過程において，他者と協力しながら課題に取り組もうとする協働的態度を育成することができる。

さらに，総合的な学習の時間の「江田島市の魅力を紹介しよう」と関連付けることにより，話題がより身近なものになり，自ら進んで意欲的に課題に取り組もうとする主体性を育成することができると考える。

## 6　指導と評価の計画（全６時間）

㊙…総合的な学習の時間における取組

| 時 | 学習内容 | 観点別評価 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 関 | 話聞 | 言 | 評価規準<br>（○指導事項） | 評価方法 |
| ㊙ | 江田島市のよさや課題について各グループで情報を収集し，整理する。 | | | | | |
| 1 | **【課題の設定①】**（グループ会議）<br>「江田島市を活性化するための提案をまとめる」を目的に，市の現状を出し合い，取り上げたい課題を選ぶ。 | ○ | ◎ | | ○江田島市を活性化するための提案をまとめるという目的意識をもち，自分の考えを話したり，意見交換したりしようとしている。<br>○江田島市の課題について自分の知識や経験を再構成して考えを形成し，根拠を明確にしたり聞き手の理解を助ける工夫をしたりしている。 | 観察<br>ワークシート<br>自己評価 |
| 2 | **【課題の設定②】**（全体会議）<br>全体会議でグループの意見を出し合い，整理し，江田島市を活性化するための提案のテーマを決定する。 | | ◎ | ○ | ○江田島市の活性化に向けた提案についてこれまでの知識や話合いで出た意見を踏まえて，根拠を明確にして説得力のある話をしている。<br>○社会生活における敬語の適切な使い方を理解して，建設的に話し合えるよう，敬語や言葉遣いに注意している。 | 観察<br>ワークシート<br>自己評価 |
| 3 | **【情報の収集】【整理・分析】** | | ◎ | | ○江田島市の活性化に向けた提案の内 | 観察 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | （グループ会議）<br>班の中でテーマについて話し合い，提案に盛り込む具体的な内容を検討する。 | | | ○ | 容が具体的になるように話合いの進め方を工夫し，互いの考えを生かして，話したり聞いたりしている。<br>○社会生活における敬語の適切な使い方を理解して，建設的に話し合えるよう，敬語や言葉遣いに注意している。 | ワークシート<br>自己評価 |
| 4 | **【整理・分析】**<br>これまでの話合い活動を振り返り，自分たちの話合いにおける課題に気付き，話合いを効果的に進めるためのポイントをまとめる。 | ◎ | ○ | | ○「江田島市を活性化するための提案」のための話合いを振り返り，課題解決に向けた話合いの仕方について，自分の考えを話したり，意見交換したりしようとしている。<br>○課題解決に向けた話合い活動の中から話合いにおける自らの課題を決め，経験や知識を整理して考えをまとめて話している。 | 観察<br>ワークシート<br>自己評価 |
| ㊙ | 「江田島市を活性化するために」の提案を各グループで行うため，情報収集をする。 | | | | | |
| 5 | **【整理・分析】**（グループ会議）<br>班の中でテーマについて話し合い，提案に盛り込む具体的な内容を検討する。 | | ◎ | ○ | ○江田島市の活性化に向けた提案の内容が説得力のあるものになるように話合いの進め方を工夫し，互いの考えを生かして，話したり聞いたりしている。<br>○社会生活における敬語の適切な使い方を理解して，建設的に話し合えるよう，敬語や言葉遣いに注意している。 | 観察<br>ワークシート<br>自己評価 |
| 6 | **【まとめ・創造・表現】**<br>（全体会議）<br>各グループで話し合ったテーマについての具体的な内容を出し合い，江田島市を活性化するための提案をまとめる。 | | ◎ | | ○江田島市の活性化に向けた提案の内容がより説得力のあるものになるように話合いの進め方を工夫し，互いの考えを生かして，積極的に話したり聞いたりしている。 | 観察<br>ワークシート<br>自己評価 |
| 7 | **【振り返り】**<br>学習を振り返り，課題解決に向けた話合いのために有効だったことや改善すべきことをまとめる。 | ◎ | | | ○「江田島市を活性化するための提案」のための話合いを振り返り，課題解決に向けた話合いの仕方について，自分の考えを話したり，意見交換したりしようとしている。 | 観察<br>ワークシート<br>自己評価 |

## 7　本時の展開

### （1）１／７時間

**①目標**

・　江田島市を活性化するための提案をまとめるという目的意識をもち，自分の考えを話したり，意見交換したりしようとすることができる。
・　江田島市の課題について自分の知識や経験を再構成して考えを形成し，根拠を明確にしたり聞き手の理解を助ける工夫をしたりすることができる。

**②展開**

| 学習活動 | 指導上の留意点（◇）<br>（◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て） | 評価規準【観点】<br>（評価方法） |
|---|---|---|
| 1　本時の目標を知る。 | ◇総合的な学習の時間で学習した「江田島市の魅力を紹介しよう」の内容を確認し，江田島市のよさや課題を提示する。 | |
| 本時の目標　「江田島市を活性化するための提案をまとめる」を目的に，市の現状を出し合い，取り上げたい課題を決めることができる。 | | |
| 2　課題について個人で考えをもつ。 | ◇自分の考えとその根拠を付箋に書く。根拠は具体的に書くように指導する。 | 【予想される反応】<br>課題<br>・少子高齢が進んでいる<br>・雇用が少ない<br>・土産物が少ない<br>・生カキが食べられる店が少ない<br>・空き家が多い<br>・若者が遊ぶところが少ない<br>など |
| 3　班内で意見を交流し，学級に取り上げて話合うべき課題を絞り込む。 | ◇班で考えてみたい問題・課題を一人ずつ挙げさせ，内容ごとに仲間分けさせる。また，それを取り上げる根拠を明らかにして述べさせる。<br>◆説明する際には，話形を設定しておき付箋を台紙に貼りながら説明させる。<br>◇出た意見は，シンキングツール（座標軸）を用い，①問題の重要性，②緊急性，③宣言・提言を出すことで得られる効果，④実現のしやすさの４点で比較してさせ，自分たちが今取り組めることは何かを話し合わせる。<br>◆課題を整理させるために，表にして整理させる。また，次時の発表ではその表を用いることを指示しておき，意見を集約して全体に提案するための準備もさせる。 | 江田島市を活性化するための提案をまとめるという目的意識をもち，自分の考えを話したり，意見交換したりしようとしている。（関心・意欲・態度）<br>江田島市の課題について自分の知識や経験を再構成して考えを形成し，根拠を明確にしたり聞き手の理解を助ける工夫をしたりしている。（話・聞）［観察，ワークシート，自己評価］ |
| 4　学習の振り返りをする。 | ◇「一時間のあゆみ」（自己評価表）に話合いにおける自分の態度と，これまでの知識や経験を活用して話したり聞いたりできたかについて振り返りをさせる。 | |

（２）２／７時間

①目標

・　江田島市の活性化に向けた提案についてこれまでの知識や話合いで出た意見を踏まえて，根拠を明確にして説得力のある話をすることができる。

・　社会生活における敬語の適切な使い方を理解して，建設的に話し合えるよう，敬語や言葉遣いに注意することができる。

②展開

| 学習活動 | 指導上の留意点（◇）<br>（◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て） | 評価規準【観点】<br>（評価方法） |
|---|---|---|
| 1　前時の学習の確認をし，発表の準備を行う。<br><br>2　それぞれの班の発表を聞くときのポイントを考える。 | ◇班ごとで前時の振り返りを行い，発表する内容を確認させる。<br><br>◇意見だけでなく，それを支える根拠を聞き取ってキーワードでメモをしていくことを確認させる。 | |
| 本時の目標　　全体会議でグループの意見を出し合い，意見を整理して，江田島市を活性化するための提案のテーマを決定することができる。 | | |
| 3　班ごとに代表者が発表し，発表者以外はメモをとりながら聞く。 | ◇司会者（議長）に会を進めさせ，聞き手はメモを取らせながら聞かせる。発表者にもメモを用意させ，それを基に話すようにさせておく。<br>◆聞き手には，机間指導の際にキーワード（単語）でメモをするよう声をかける。 | 江田島市の活性化に向けた提案についてこれまでの知識や話合いで出た意見を踏まえて，根拠を明確にして説得力のある話をしようとしている。（話・聞） |
| 4　取り上げるテーマとしてふさわしいものを取り上げ，自分なりの考えをもち，班で意見を交流し，取り上げるテーマを決める。 | ◇自分のメモをもとに考えさせる。その際，自分の班の考えに固執することなく，①問題の重要性，②緊急性，③宣言・提言を出すことで得られる効果について検討するようにさせる。<br>◆各班の司会者に，各自のメモを元に必ず全員が発言し，話合いに参加するように指導しておく。 | 社会生活における敬語の適切な使い方を理解して，建設的に話し合えるよう，敬語や言葉遣いに注意している。（言語）［観察，ワークシート，自己評価］ |
| 5　各班の決定内容を確認する。 | ◇代表者に内容を発表させる。 | |
| 6　学習内容を振り返る。 | ◇「一時間のあゆみ」（自己評価表）に，根拠に気を付けながら話したり聞いたりできたかどうか振り返りをさせる。 | |

（３）３／７時間

①本時の目標

・　江田島市の活性化に向けた提案の内容が具体的になるように話合いの進め方を工夫し，互いの考えを生かして，話したり聞いたりすることができる。

・　社会生活における敬語の適切な使い方を理解して，建設的に話し合えるよう，敬語や言葉遣いに注意することができる。

②展開

| 学習活動 | 指導上の留意点（◇）<br>（◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て） | 評価規準【観点】<br>（評価方法） |
|---|---|---|
| 1　学習内容を確認する。 | ◇前時に発表した各班決定内容の振り返りを行い，学習活動を確認させる。 | |
| 本時の目標　　班の中でテーマについて話し合い，提案に盛り込む具体的な内容を検討することができる。 | | |
| 2　各班のテーマについて，自分の考えを書き出した後，班の中で意見を交流する。 | ◇司会者が全ての班員から意見を聞き，意見の発表後には，内容について一言コメントを述べるようにさせる。<br><br>◆発言する前に，盛り込みたい表現を付箋に書かせておき，各自が考えをもって話合いに参加できるようにする。また確かな根拠も添えさせ，班内での発表ではその根拠をもって自分の意見として発言させるようにする。<br><br>【例】<br>・江田島市の観光地化<br>→特産品が食べられる店をアピール<br>・江田島市ＰＲを促進<br>→広報誌を他の市町に配る<br>・少子化をくいとめる<br>→税金を安くする<br>→子どもが遊べる公園を作る　など | 江田島市の活性化に向けた提案の内容が具体的になるように話合いの進め方を工夫し，互いの考えを生かして，話したり聞いたりしている。（話・聞）<br>社会生活における敬語の適切な使い方を理解して，建設的に話し合えるよう，敬語や言葉遣いに注意している。（言語）［観察，ワークシート，自己評価］ |
| 3　各班が提案に入れる文章を決めて，フリップや資料などにまとめる。 | ◇次時の発表を意識させ，提示資料には簡潔な表現で書くようにさせる。また，提案理由は具体的に述べさせる。決めた内容は各自のワークシートに記録させておく。 | |
| 4　学習の振り返りをする。 | ◇「一時間のあゆみ」（自己評価表）に，根拠をもて話すことができたかどうか振り返りをさせる。 | |

（4）４／７時間

①目標

・　「江田島市を活性化するための提案」のための話合いを振り返り，課題解決に向けた話合いの仕方について，自分の考えを話したり，意見交換したりしようとしている。

・　課題解決に向けた話合い活動の中から話合いにおける自らの課題を決め，経験や知識を整理して考えをまとめて話している。

②展開

| 学習活動 | 指導上の留意点（◇）<br>（◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て） | 評価規準【観点】<br>（評価方法） |
|---|---|---|
| 1　これまでの話合い活動を振り返る。 | ◇「一時間のあゆみ」（自己評価表）を見ながらこれまでの班での話合いを振り返らせる。 | |
| 本時の目標　これまでの話し合い活動を振り返り，自分たちの話合いにおける課題に気付き，話合いを効果的に進めるためのポイントをまとめることができる。 | | |
| 2　「江田島市の活性化に向けた提案の決定～ある班の話合い～」を再現したワークシートを読み，話し合う様子についての課題意識をもつ。 | ◇これまでの話合い活動の様子を記録したワークシートを示し，自分たちの課題に気付かせるようにする。<br>生徒の役割　（例）<br>生徒Ａ　自分の意見をもって話合いに参加していない<br>生徒Ｂ　他者の意見を否定するばかり<br>生徒Ｃ　どの意見に対しても同調するのみ<br>生徒Ｄ　自分の意見だけを通そうとする<br>生徒Ｅ　発言をしない | 【予想される反応】<br>課題<br>・自分の意見をもって話合いに参加していない<br>・根拠の弱い意見が出ている<br>・意見を整理する人がいない<br>・人の意見を聞いて，質問したり問い返したりしていない<br>・話題を広めたり深めたりするアドバイスがない　など |
| 3　２の話合いをロールプレイし，それぞれの立場での課題を考え，個人で書き出す。 | ◇役割分担をして一度演技させた後，課題と考える部分に傍線を引かせ，自分の考えもちやすくさせてから，課題とすることについて書かせる。<br>◆初めに自分が演じた話者についての課題に気付かせた後，一人一人の課題を考えさせるようにする。 | 江田島市を活性化するための提案」のための話合いを振り返り，課題解決に向けた話合いの仕方について，自分の考えを話したり，意見交換したりしようとしている。（関心・意欲・態度）<br>課題解決に向けた話合い活動の中から話合いにおける自らの課題を決め，経験や知識を整理して考えをまとめて話している。（話・聞）［観察，ワークシート，自己評価］ |
| 4　２の改善台本と比較し，班で話合いのポイントを話し合う。 | ◇３について課題を各自が提示して整理させた後，二つの台本を比較しながら改善台本のよさを指摘させ，「話合いのポイント」として箇条書きで整理させる。 | |
| 5　「話合いのポイント」を整理する。 | ◇各班からの発表を提示し，生徒自身にまとめさせる。 | |
| 6　学習の振り返りをする。 | ◇「一時間のあゆみ」（自己評価表）に話合いにおける自分の態度について振り返りをさせる。 | |

（５）５／７時間

①目標

○　江田島市の活性化に向けた提案の内容が説得力のあるものになるように話合いの進め方を工夫し，互いの考えを生かして，話したり聞いたりしている。

○　社会生活における敬語の適切な使い方を理解して，建設的に話し合えるよう，敬語や言葉遣いに注意している。

②展開

| 学習活動 | 指導上の留意点（◇）<br>（◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て） | 評価規準【観点】<br>（評価方法） |
|---|---|---|
| １　学習内容を確認する。 | ◇前時に発表した各班決定内容と，話し方のポイントの振り返りを行い，学習活動を確認させる。 | |
| 本時の目標　　班の中でテーマについて話し合い，提案に盛り込む具体的な内容を検討することができる。 | | |
| ２　各班のテーマについて，自分の考えを書き出した後，班の中で意見を交流する。 | ◇司会者が全ての班員から意見を聞き，意見の発表後には必ず一人一言コメントをさせる。<br>◆盛り込みたい表現をワークシートに３０字程度の短文で書かせる。また，確かな根拠も添えさせ，班内での発表ではその根拠をもって自分の意見として発言させるようにする。<br>【例】<br>・江田島市の観光地化<br>→特産品が食べられる場所を増やす<br>・江田島市ＰＲを促進<br>→ラッピングバスを走らせる<br>→広報番組を放送する<br>・少子化をくいとめる<br>→働ける場所を増やす<br>→税金を安くする　など | 江田島市の活性化に向けた提案の内容が具体的になるように話合いの進め方を工夫し，互いの考えを生かして，話したり聞いたりしている。（話・聞）<br>社会生活における敬語の適切な使い方を理解して，建設的に話し合えるよう，敬語や言葉遣いに注意している。（言語）［観察，ワークシート，自己評価］ |
| ３　各班が提案に入れる文章を決めて，フリップや資料などにまとめる。 | ◇次時の発表を意識させ，提示資料には簡潔な表現で書くようにさせる。また，提案理由は具体的に述べさせる。決めた内容は各自のワークシートに記録させておく。 | |
| ４　学習の振り返りをする。 | ◇「一時間のあゆみ」（自己評価表）に，話し方のポイントを生かして，互いの考えを生かして，話したり聞いたりできたかどうかどうか振り返りをさせる。 | |

（６）６／７時間

①目標

・　江田島市の活性化に向けた提案の内容がより説得力のあるものになるように話合いの進め方を工夫し，互いの考えを生かして，積極的に話したり聞いたりしている。

②展開

| 学習活動 | 指導上の留意点（◇）<br>（◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て） | 評価規準【観点】<br>（評価方法） |
|---|---|---|
| 1　学習の内容を確認する。 | ◇前時に発表した各班決定内容の振り返りを行い，学習活動を確認させる。 | |
| 本時の目標　各グループで話し合ったテーマについての具体的な内容を出し合い，江田島市を活性化するための提案をまとめることができる。 | | |
| 2　会議の目的と進め方を確認する。 | ◇議長（司会者）を決定し，「問題解決を目指す話合いの仕方」を示し，話合いのポイントを押さえておく。 | 【例】<br>「１班は，江田島市魅力アップのため，江田島市のさらなる観光地化を提言します。具体的な方策して，特産品が食べられる場所を増やすことを提案します。カキ料理専門店を中町港の一角に作り，牡蠣料理を提供してはどうでしょうか。①②江田島市には，カキ専門店がありません。④中町港は，広島市からの観光の入り口で人も多く集まります。また車で来る人にも駐車場の心配がないからです。③また，この提言は，カキのＰＲと中町港の利用促進の二つの点で効果があると考えられます。」 |
| 3　班ごとに具体案を提案し，検討する。 | ◇各班の代表者にフィリップや資料を使って１分程度で発表させる。資料は事前に配布しておき，①問題の重要性，②緊急性，③宣言・提言を出すことで得られる効果に加え，④実現性の視点で各自，内容についての質問などの考えを持たせておく。<br>◆質問が出ない場合，議長が発表班以外からの質問や意見を促し，発言させる。 | |
| 4　提案事項の内容を確認する。<br>5　学習を振り返る。 | ◇各班の意見を整理して，学級の提案事項として決定する。<br>◇「一時間のあゆみ」（自己評価表）に，話合いの進め方を工夫し，互いの考えを生かして，積極的に話したり聞いたりできたかどうか振り返りをさせる。 | 江田島市の活性化に向けた提案の内容がより説得力のあるものになるように話合いの進め方を工夫し，互いの考えを生かして，積極的に話したり聞いたりしている。（話・聞）［観察，ワークシート，自己評価］ |

（７）７／７時間

①目標

・　江田島市の活性化に向けた提案の内容がより説得力のあるものになるように話合いの進め方を工夫し，互いの考えを生かして，積極的に話したり聞いたりしている。

②展開

| 学習活動 | 指導上の留意点（◇）<br>（◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て） | 評価規準【観点】<br>（評価方法） |
|---|---|---|
| 1　学習の内容を確認する。 | ◇本単元全体の振り返りを行うことを知らせる。 | |
| 本時の目標　　学習を振り返り，課題解決に向けた話合いのために有効だったことや改善すべきことをまとめることができる。 | | |
| 2　単元全体を振り返り，「江田島市の活性化に向けて」という課題について話し合ったことについて，話し合う。 | ◇話合い活動を振り返り，有効だったこと，改善すべきことについて，個人で考え，ワークシートに記入させる。その後，班で話し合わせる。個人の意見を簡潔に述べさせたあと，振り返る視点として，班での話合い（グループ会議），全体での話合い（全体会議）の中で，確認しておくべき事柄や共有しておくべき事柄を挙げておく。また，テーマについても考えが深まったりさらなる課題が見つかったりしたことについて考えをもたせる。<br>◆これまでの話合いで使用したワークシートや自己評価表を参考にさせる。 | 【予想される反応】<br>〇有効だったこと<br>・設定されてテーマが考えやすかったので，自分の意見を持つことができた。<br>・書いた付箋を読み合いながら貼っていくことで意見が出しやすかった。<br>〇改善すべきこと<br>・付箋を貼る座標軸の使い方がわからなかった。<br>・説得力のある根拠を用意していなかった（データや資料を持っていなかった）<br>・一部の人に任せきりで話合いになっていなかった。<br><br>「江田島市を活性化するための提案」のための話合いを振り返り，課題解決に向けた話合いの仕方について，自分の考えを話したり，意見交換したりしようとしている。（意欲・関心・態度）［観察，ワークシート，自己評価］ |
| 3　各班の意見を聞く。 | ◇各班の代表者に発表させる。 | |
| 4　「能美中版　話合いのポイント」に挙げる項目を整理する。 | ◇授業時に提示した３項目で整理する。<br><br>A　自分の考えをもち，発言する<br>B　知識や体験に基づき，説得力のある意見を述べ合う<br>C　お互いの考えを生かし合う | |
| 5　学習を振り返る。 | ◇「一時間のあゆみ」（自己評価表）に，単元全体を振り返り，話合い活動における自分の成果と今後の課題を記入させる。 | |